

日本学術会議 環境学委員会  
環境政策・環境計画分科会サステナブル投資小委員会（第25期・第2回）  
合同会議議事録

日時：2021年5月17日（月）13:00～15:00

場所：遠隔会議

出席者：馬奈木 俊介、大塚 直、高村 ゆかり、池邊 このみ、岸村 顕広、北村 友人、  
栗山 浩一、阪 智香、西谷 公孝、村上 暁信

司会進行：馬奈木

記録：阪

（1） 経済学ベースでのサステナブル投資指標提案

馬奈木委員長より、経済学ベースでのサステナブル投資指標提案に関する研究報告があった。SDGs等の背景、新国富（人工資本、人的資本、自然資本）の概念、経済価値で測定することの意義、新国富の増加につながる実際の解決事例や科学的知見の見える化事例等についての説明があった。

その後、新国富と企業の統合報告における6つの資本とのつながり、教育の人的資本の測定方法や利用の仕方、数値化できないものについての代理変数の探し方の事例と成功事例の積み重ねの重要性、経済価値測定の際の時間軸の考え方等についての質疑応答があり、本分科会にとって有益な議論となった。

（2） 専門家による講演

専門家によるESG投資の現状と展望についての報告があった。ESG投資に係る全体観、ESG投資のメインストリーム化、ESG投資スタイル、日本企業のESGスコア、消費者行動の変化等についての説明があった。その後、米国や中国の状況、企業ディスクロージャーにおけるESGウォッシングの扱い、サステナビリティの概念、過去数年における変化等についての質疑応答があり、本分科会にとって有益な議論となった。

（3） 議事要旨

議事要旨の提出に関しては委員長に一任することを承認。

（4） 次回委員会

2021年6月21日（月）13時～15時

以上